

エイム電子株式会社

# エコアクション21環境活動レポート

2018年10月 ～ 2019年9月



発行日2019年10月 24日

～目次～

■組織の概要	1
■対象範囲、レポートの対象期間及び発行日	1
■環境方針	2
■環境目標	3
■環境活動計画	4
■環境目標の実績	5
■取組結果とその評価、次年度の取組内容	6
■環境関連法規制の遵守状況	7
■代表者による全体評価と見直し	7

**AIM**  
AIM ELECTRONICS

# 1.組織の概要

## 1)事業所名及び代表者名

エイム電子株式会社 代表取締役 中山栄志

## 2)所在地

本 社 : 〒252-0327 神奈川県相模原市南区磯部1353  
R&Dセンター: 〒252-0327 神奈川県相模原市南区磯部1354-4  
物流センター: 〒252-0336 神奈川県相模原市南区当麻1107-20

## 3)環境管理者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者: 経理部長 松島広晃  
担 当 者 : EA21事務局 西田  
連 絡 先 : 電話 046-253-9881  
FAX 046-252-7572

## 4)事業の活動内容

認証・登録対象活動  
ネットワーク用、AV用ケーブル及び周辺機器の製造・輸入販売

## 5)事業の規模

活動規模	単 位	H28年度	H29年度	H30年度
売上	百万円	1,080	1,091	1,212
従業員	人	64	71	72
床面積	m <sup>2</sup>	755	755	830

# 2.対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

## 1)認証・登録範囲

全組織、全活動、全従業員  
本社・R&Dセンター、物流センター(全社、全活動を含む)

## 2)レポートの対象期間及び発行日

期 間: 平成30年10月1日～令和元年9月30日

発行日: 令和元年10月24日

### 3.エイム電子環境方針

#### [理念]

当社は経営理念に「地球環境と社会に貢献する」を掲げ、地球環境問題への取り組みが企業経営における重要課題の一つであると認識し、地球環境に配慮した事業活動に積極的に取り組んで参ります。

#### [方針]

- 1) 事業活動の全域で省エネルギー、廃棄物削減、節水の推進に努めます。
- 2) 環境保全に配慮した製品の製造及び資材の購入に努めます。
- 3) 環境マネジメントシステムの継続的な維持向上に努めます。
- 4) 当社の活動に係わる環境関連法規、その他の要求事項を遵守します。
- 5) オフィス用品のグリーン購入を推進します。
- 6) 環境方針を全従業員へ周知させるとともに環境教育及び啓発に努めます。

平成28年10月1日  
エイム電子株式会社  
代表取締役  
中山栄志

## 4. 環境経営目標

項目		H29年度	H30年度		R1年度	R2年度
		実績 (基準値)	目標	実績値	目標	目標
二酸化炭素排出量削減(kg-CO2)		58,914	58,972	58,364	58,074	57,900
前年比削減率(%)		-4.2%	0.1%	-1.0%	-0.5%	-0.3%
二酸化炭素排出量削減	本社電力(kwh)	52,020	52,280	42,722	42,509	42,382
	前年比削減率(%)	-4.5%	0.5%	-	-0.5%	-0.3%
	物流C電力(kwh)	37,897	37,707	36,058	35,950	35,843
	前年比削減率(%)	-5.4%	-0.5%	-4.9%	-0.3%	-0.3%
	R&Dセンター電力(kwh)	-	-	4,927	8,128	8,104
	前年比削減率(%)	-	-	-	-0.5%	-0.3%
化石燃料	ガソリン燃費(km/ℓ)	18.02	18.05	18.46	18.37	18.31
	前年比向上率(%)	1.4%	0.2%	2.4%	-0.5%	-0.3%
排水量削減(m <sup>3</sup> /人)		5.5	5.40	5.66	5.63	5.60
前年比削減率(%)		7.4%	-1.8%	2.9%	-0.5%	-0.5%
コピー紙購入量削減(kg)		873	869	796	788	780
前年比削減率(%)		4.2%	-0.5%	-8.8%	-1.0%	-1.0%
一般廃棄物排出量削減(kg)		3,541	3,530	4,569	4,112	4,070
前年比削減率(%)		67.6%	-0.3%	29.0%	-10.0%	-1.0%
産業廃棄物リサイクル率/ (H28～)産業廃棄物の削減 産業廃棄物の適正管理		100%	適性管理	100%	適性管理	適性管理
環境に配慮した製品作り 及び資材の購入		RoHS比率 99.2%	RoHS2へ 移行	RoHS2比率 32%	RoHS2比率 50%	RoHS2比率 60%
防災対策		実施	防災・災害後 対策強化	実施	防災・災害後 対策強化	防災・災害後 対策強化

※ 化学物質の使用無し。

※ CO2排出係数は「東京電力=0.462 東京ガス=0.371(kg-CO2/kWh)」を使用。

※ リサイクル率は重量計測で排出する産業廃棄物で計算します。(99%以上が該当)

※ 産廃の適性管理=産業廃棄物管理票交付、管理及び行政への報告、

産業廃棄物委託契約書の締結、産業廃棄物排出量(リサイクル量)の把握

※H30年度の本社電力実績値は、3月から稼働のR&Dセンターの数値を含む

(本社電力:42,722kWh R&Dセンター電力:4,927kWh)

※R&DセンターのH30年度実績は、2019/3～2019/9分

## 5.環境活動計画

### (1) 二酸化炭素排出量削減

#### -1 本社／R&Dセンター／物流センター電力削減

- ・クールビズの励行、卓上ファンの配布
- ・ウォームビズの励行、足温器の配布
- ・エアコンの定期清掃による効率アップ
- ・待機電力カットの強化
- ・省エネ啓蒙コラムをメール配信
- ・エアコン温度設定等の節電メッセージの設置
- ・エアコン消し忘れ防止タイマーの設定

#### -2 ガソリン燃費削減

- ・運転時の排気ガス削減方法を社内に告知

### (2) 排水量削減

- ・節水ポスターの見直し
- ・社内へ節水啓蒙のコラムをメール配信

### (3) コピー紙購入量削減

- ・裏紙利用の促進、ルール再確認
- ・社内書類のペーパーレス化推進

### (4) 一般廃棄物排出量削減

- ・一般ゴミの分別の徹底
- ・廃棄品の定期処理

### (5) 産業廃棄物の適正管理

- ・産業廃棄物の適正管理  
(産業廃棄物管理票交付、管理及び行政への報告  
産業廃棄物委託契約書の締結、産業廃棄物排出量(リサイクル量)の把握)

### (6) 環境に配慮した製品作り及び資材の購入

- ・顧客の要望を中心に、RoHS2指令への対応を推進
- ・RoHS2非対応、不明在庫品については対応品への入替を順次進める

### (7) 防災対策

- ・防災グッズの点検、充実化
- ・非常食、飲料水の点検、充実化
- ・避難訓練の実施
- ・防災関連イベント等へ参加し、防災対策の充実化を図る

以上

## 6. 環境経営目標の実績

今年度の環境保全活動が終了し、社長と環境管理責任者が環境への取組結果の評価を行った。評価結果は次の通りである。

No.	推進項目	単位	責任者	年度目標	年度実績	評価
1	二酸化炭素排出量削減	kgCO2	松島	58,952	58,364	○
1-①	二酸化炭素排出量削減 本社電力	kwh	西田	52,300	42,722	○
1-②	二酸化炭素排出量削減 倉庫電力	kwh	西田	37,707	36,058	○
1-③	二酸化炭素排出量削減 ガソリン燃費	km/ℓ	西田	18.05	18.46	×
2	排水量削減	m3/人	西田	5.40	5.66	×
3	コピー紙購入量削減	kg	小池	869	796	○
4	一般廃棄物排出量削減	kg	小池	3,530	4,569	×
5	産業廃棄物リサイクル率 産業廃棄物の削減/適正管理		松島	適正管理	リサイクル100%	○
6	環境に配慮した製品作り 及び資材の購入		松島	RoHS2へ移行	RoHS2比率 32%	—
7	防災対策		東	防災・災害後 対策強化	実施	○

## 7. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

### 【電力使用量】

2018年10月に本社屋上に太陽光電池を設置。

クールビズ／ウォームビズ、エアコン設定温度の周知等の啓蒙活動も継続して実施した結果R&Dセンターの稼働分を含めても、目標を大きく上回る事が出来た。

●来期は2019年9月に実施した遮熱塗装の効果で、本社の節電が見込まれる。

2019年稼働のR&Dセンターでも新たに省エネ施策に取り組み、全社での使用量削減に努める。

### 【ガソリン燃費】

ハイブリッド車の使用割合は53%→54%と微増したが、短距離運転の割合が多く

燃費は悪くなってしまった。

●エコドライブに関する情報を配信すると共に、ハイブリッド車の使用を励行し、燃費の改善を図りたい。

### 【排水量】

前年より排水量増加してしましたが、稼働時間の増加、新事業所(R&Dセンター)の稼働夏季のグリーンカーテン実施によりやむを得ないとする。

●今後大きな節水は望めないが、今期は具体的な節水への取組みの検討／実施と引続き、節水意識の啓蒙を実施したい。

### 【コピー紙購入量】

勤怠管理の一部オンライン化により、残業申請等の書類のペーパーレス化を実施。

継続した裏紙利用等により、目標を大きく上回る事が出来た。

●社内書類、手続きのペーパーレス化を推進したい。

### 【一般廃棄物排出量】

新しくR&Dセンターが稼働した事や、物流センター内から検証室を撤収する等

社内整理が進んだ事、又前年からの売上増も相まって、排出量は大きく増えてしまった。

●分別リサイクルの周知徹底する。

### 【産業廃棄物リサイクル率】

当社の産業廃棄物は再生可能品は総て分別し、リサイクルしている。

●今後も分別の徹底を続けます。ビニールごみ対策の検討。

### 【環境に配慮した製品作り】

2019年7月のRoHS2指令の施行に備えて、対応製品への切替を順次実施。

●在庫品の内、32%がRoHS2対応へ切替済。

来期以降も継続して、RoHS2対応製品への切替を推進していく。

### 【防災対策】

計画通りに防災対策を進めることが出来た。防災グッズの棚卸、新規購入等も実施。

●有事に備え、更に防災対策の充実を図りたい。

○代表者の前期指摘事項に対する取組について

省エネ意識への取り組み⇒水道料金に関する省エネコラム等、情報配信による啓蒙を実施

燃費向上への取り組み⇒普通車、HV、PV、PHVについて、燃費等特徴の違いを情報配信

HVの利用率は微増したが、来期も継続しての啓蒙を予定

BCP・防災の取り組み⇒停電時の蓄電池稼働状況テストを実施、稼働を確認

BCP策定に関しては、来期の継続課題

## 8.環境関連法規制の遵守状況

内 容	過去3年から現在までの結果
遵守状況の確認 及び評価結果 法律違反の有無	なし
訴訟の有無	なし

## 9.代表者による評価と見直し

### 環境目標の達成状況について

Co2排出量、電気使用量、コピー紙購入量を削減出来ていることは日々の取り組みの成果であり、来期も継続してほしい。  
一方、排水量・燃費等については削減に向けて具体的施策への取り組み実施を期待する。

### 来期への取り組みについて

排水量削減への取り組み／グリーンカーテン実施に伴う排水量と節電効果の比較  
燃費向上への取り組み／燃費効率の良い運転方法等の周知、啓蒙

### 環境方針・環境目標・環境活動計画および環境経営システムについて

取り組みの成果が着実に出ていることから、  
変更の必要性はないものと判断する。

2019年10月11日  
エイム電子株式会社  
代表取締役 中山栄志